

「効果的な福祉用具の普及システムづくり」アンケート結果（概要）

有効回答数 188名

1 回答者の性別

男性 26名

女性 162名

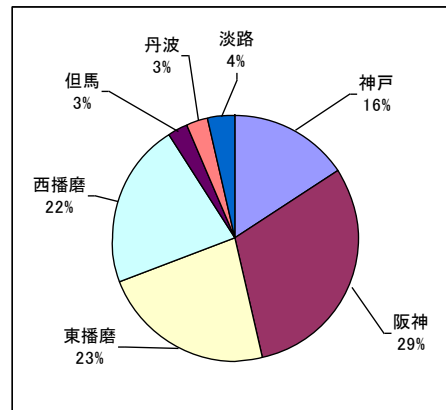
2 活動の圏域（市町）

神戸 30名 阪神 57名

東播磨 43名 西播磨 41名

但馬 5名 丹波 5名

淡路 7名

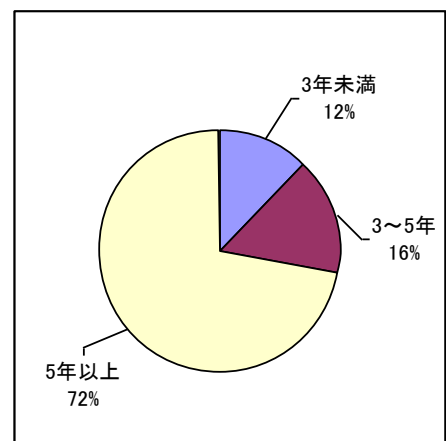


3 ケアマネジャーとしての活動年数

3年未満 23名

3年～5年 30名

5年以上 135名



4 知っている福祉用具展示施設

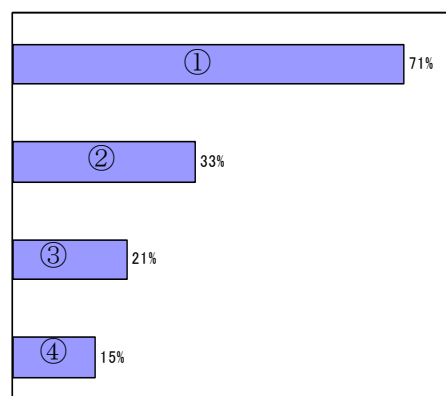
（複数回答可）

①福祉のまちづくり研究所 133名

②西播磨総合リハビリテーションセンター 62名

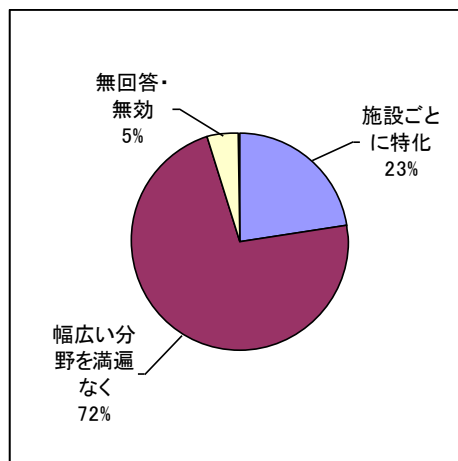
③但馬長寿の郷 39名

④3施設とも知らない 28名



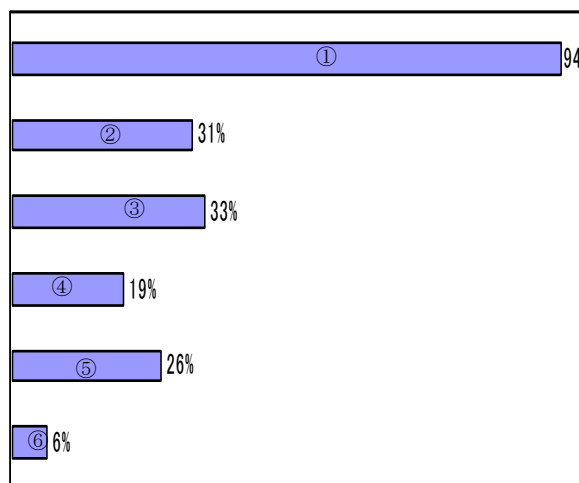
5 上記3展示場について、どのような方向性がよいと思われますか？

- ・施設ごとに特化した分野の福祉用具を展示 43名
- ・施設ごとに分野は特化せず、幅広い分野の福祉用具を満遍なく展示 136名
- ・無回答・無効 9名



6 福祉用具の情報等について、どのように収集されていますか？（複数回答可）

- ①事業者 177名
- ②展示場 58名
- ③研修会 62名
- ④インターネット 36名
- ⑤関係機関誌 48名
- ⑥その他 11名



7 開発を希望する福祉用具、展示・情報提供の方法など（自由記述）

- ・誰でも安全に使用できる用具の開発
- ・専門的な知識が学べる講習、勉強会がもっとあればよい
- ・小物や機能で対象者にあわせ調整ができる用具
- ・利用者の残存機能を十分に生かした、福祉用具等の開発
- ・自助具や購入のものは価格が高く、デモが少ない。デモの機会を増やしてもらいたい
- ・気軽に相談できる相談窓口があればうれしい
- ・研修会や展示会以外で新製品の情報を知る機会がほしい
- ・医療現場で福祉用具を詳しく知らない方がおり、そういう方に知ってもらえればと思う
- ・その他、具体的な用具名をあげての開発希望 など

—————ご協力ありがとうございました—————